

KOBECCO

September '99 No.460 月刊神戸っ子9



★結婚特集 **KOBE**流ウエディング

★待望の神戸空港着工へ

〈連載〉エッセイ 村松友視 ショートショート 玉岡かおる



フェニックスプラザは三宮の中心市街にあって便利

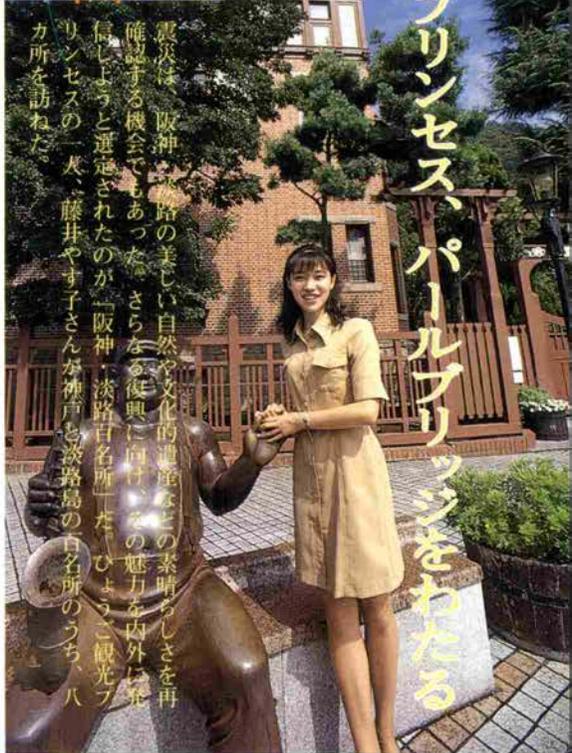


震災メモリアルパークに残る震災の傷跡は今でも痛々しい

観光プリンス、パールブリッジをわたる

阪神淡路 百名所

震災は、阪神・淡路の美しい自然や文化的遺産などの素晴らしさを再確認する機会でもあった。さらなる復興に向けたその魅力を内外に発信しようとして選定されたのが「阪神・淡路百名所」だ。ひょうご観光プリンスの一員、藤井やす子さん(神戸市中央区淡路島)の百名所のうち、八カ所を訪ねた。



北野異人館街

神戸の名だたる観光名所、北野。立ち並ぶ異人館の建物のセンスの良さをじっくりと。ただ通りいっぺんに異人館を見て回るだけでなく、少し脇道にそれてみよう。路地には過去、そして現在の異国情緒が交じりあう濃密な空気が感じられる。

■北野異人館街
神戸市総合インフォメーション
TEL078・322・0220

フェニックスプラザ

(阪神・淡路震災復興支援館)

被災者のコミュニティゾーンともいえるフェニックスプラザ。震災に関する図書類を備えたライブラリーや、セミナーやシンポジウムの開ける多目的室なども設置し、被災者の生活再建に向けての各種支援情報をはじめ、被災者支援グループなどの交流、学習の拠点となる。

■フェニックスプラザ
神戸市中央区三宮町1-7
TEL078・325・8558

神戸港震災メモリアルパーク

美しく整備された海の入り口メリケン波止場にそごだけ、一九九五年一月十七日のままで時間が止まった場所が

ある。「保存ゾーン」と呼ばれるその場所では、改めて震災の大きさと、自然の脅威が実感できる。「復興ゾーン」では、神戸港の被災状況、復興計画等が紹介されている。

■神戸港震災メモリアルパーク
(社)神戸港復興協会
神戸市中央区波止場町
TEL078・391・6751

明石海峡大橋(パールブリッジ)

世界最長の吊り橋の完成で淡路島も四国も驚くほど近くなった、ということ一度通った人は誰でも感じるだろう。約百五十メートルの橋桁部分が回廊となった「舞子海上プロムナード」もぜひ、おすすめ。人間の技術の進歩はここまで来ている。ライトアップされた夜の大橋の眺めも新たなスポットになっている。

■明石海峡大橋
神戸市垂水区舞子(神戸側)
津名郡淡路町松帆(淡路側)
本州四国連絡橋公団第一管理局計画課
TEL078・782・5400

あわじ花さじき

大阪湾と瀬戸内海を見下ろすパノラマに咲き乱れる四季の花々。青く広がる空は訪れた人々を吸い込んでいきそなほほど、大きい。淡路島の新鮮な農産物や花の即売も行われていて、「花の島」淡路がぎゅっしりと凝縮されている。



■あわじ花さじき
津名郡東浦町楠本字上山
TEL0799・74・6426

淡路島国際公園都市

「コミュニケーション都市」の形成を基本理念に、自然の回復作業や、防災機能を持った施設を目指す淡路島国際公園都市は、来年の淡路花博・ジャパンフローラ2000の会場ともなる。



甲子園球場4つ分の敷地に250万本の花というスケールの大きさ、あわじ花さじき



整備が進む淡路花博「ジャパンフローラ2000」の会場

淡路夢舞台や淡路島公園も含まれ、自然とのコミュニケーションを創造する。

■淡路島国際公園都市

国営明石海峡公園、県立淡路島公園、淡路夢舞台、淡路花博・ジャパンフローラ2000

淡路景観園芸学校

生活と共存する自然とはどのようなものだろうか。このアカデミーでは「景観園芸」を通して園芸・造園界の新しい展開にリーダーとしてのキャリアを学ぶ。花と緑に囲まれたキャンパスには壁も門もない。学外者でも自由に散策できるオープンなキャンパス。

■淡路景観園芸学校

津名郡北淡町野島常盤954・2
TEL0799・82・3131

ミュージアムパークアルファビア

約百年前のレンガ倉庫が、アートと食のテーマパークとして甦った。アメリカを代表するイラストレーター、



学外者にもその魅力を味わえるようにと、淡路景観園芸学校には門も塀も造られていない



レトロな空間にノーマンロックウエルの作品。アメリカの古きよき時代がアルファビアにはある

ノーマン・ロックウエルや、スペインの天才画家、J・トレント・リヤドの作品からなるアートのミュージアムと、淡路の食材を豊富に使ったイタリアンレストランにきつとお腹も心も満腹になれるはず。

■ミュージアムパーク・アルファビア

洲本市塩屋1・1・8
TEL0799・26・1001(美術館)

0799・26・1010(レストラン)

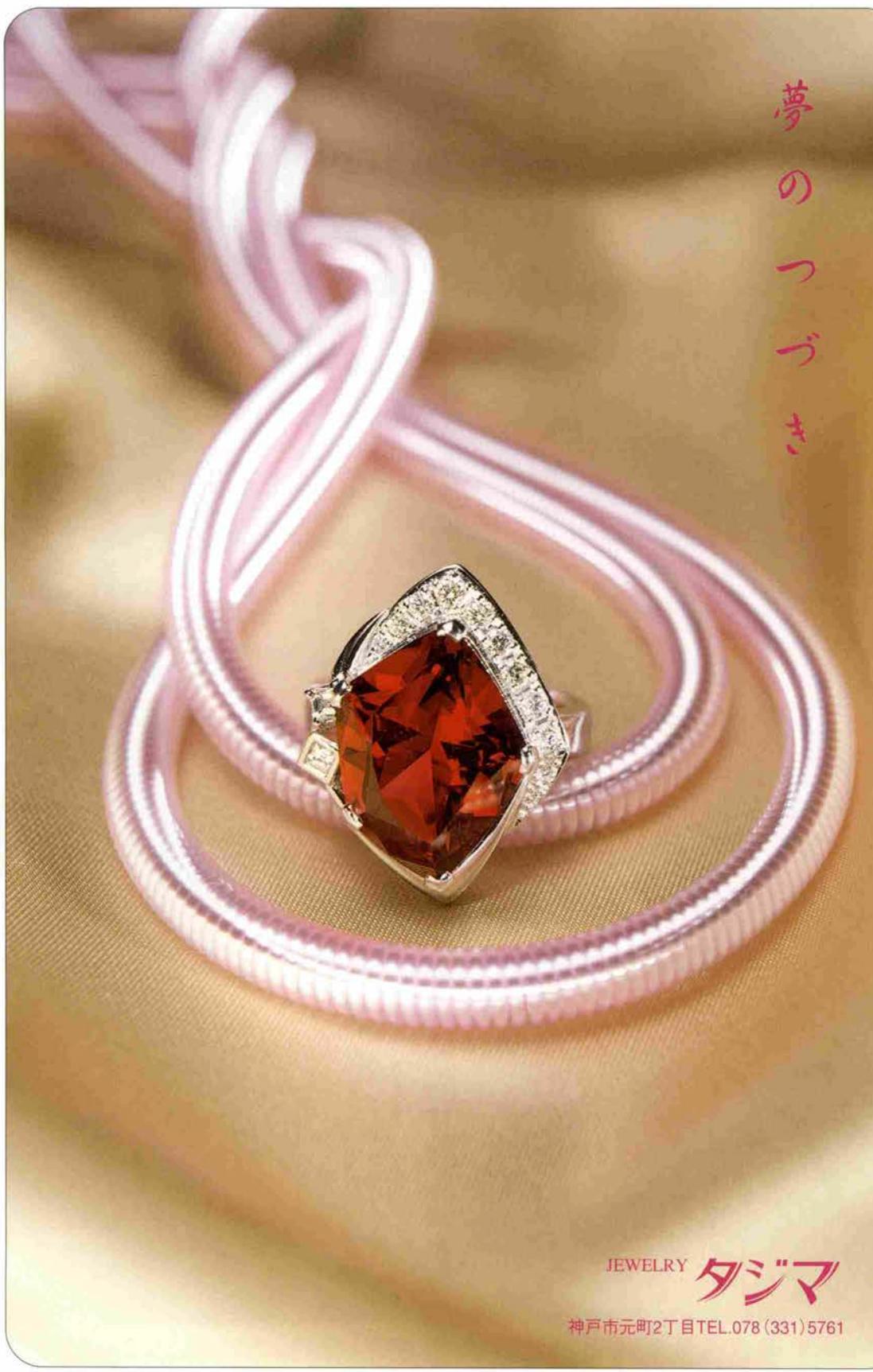


第6期ひょうご観光プリンスセス決定!

左から安福友重さん 西山厚子さん 藤井やす子さん 江本明子さん 木村麻衣子さん



夢のつづき

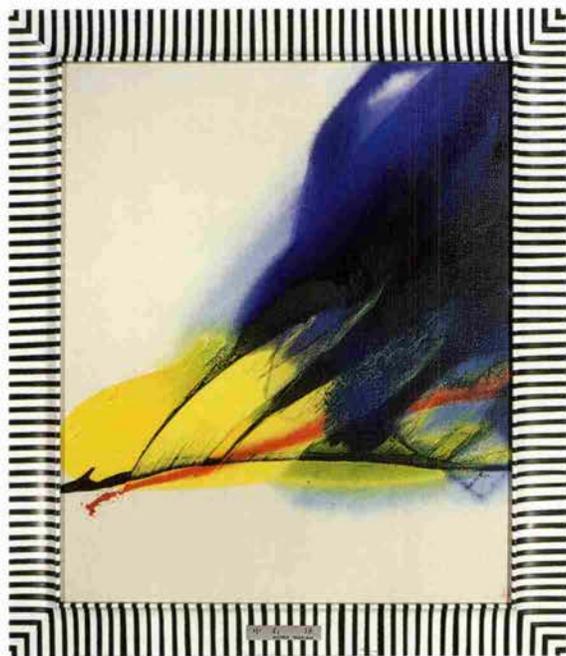


JEWELRY タジマ

神戸市元町2丁目TEL.078(331)5761

—アート&クラフト'99—

第9回 中右 瑛



シェリト・リンド



なかう えい
〈行動美術協会会員〉
神戸市灘区在住

美しい空、永遠の愛を歌うメキシコの民謡「シェリト・リンド」に触発されて、未知なる魅惑の世界を表現しようと試みて、三十年以上が経つ。

果てしない、終わりのない壮大なスペースに向かって飛び立ったのだが、今は、小宇宙をさまよう——楽しさよ。

“ベイシティバンクかんしん”は「共感・対話・信頼」を企業理念として、地域の文化・芸術の育成に努めております。

この“かんしんストリートギャラリー”も芸術の香りをほのかに漂わせたアートスポットとして、本年は「アート&クラフト'99」と題したシリーズで様々な作品を紹介してまいります。



生田駅に面したストリートギャラリー



kansin

ふれあいウェブ—ベイシティバンク

関西西宮信用金庫

神戸市中央区下山手通2丁目12-3 〒650-0011
PHONE (078) 332-5151 (代) Fax (078) 333-9874

KOBE EXCELLENT FASHION

BOUTIQUE
Omura

ボルボネーゼ秋冬物コレクションが入荷いたしました。
バック、ウェアに新しいカラーが加わり、
新たなスタイルの提案をさせていただきたいと
スタッフ一同、皆さまのご来店をお待ちしております

BOUTIQUE
Omura

BOUTIQUE

Omura



撮影/木田英男

KOBE EXCELLENT SHOP

★選りすぐった一点を…

Sanohe

神戸市中央区元町通2丁目5-11 TEL.321-1710

★神戸唯一のボルボネーゼトータルブティック

BOUTIQUE
Omura

神戸市中央区元町通3-2-18
ボルボ店 TEL.391-0014
ビアンコ・ドンナ店 TEL.391-4601
(クーカイ店)

★よろず御禮衣縫上處

神戸シヤリ

神戸市中央区三宮町3丁目1-6 TEL.331-2168



LIZA

神戸市中央区三宮町2丁目6-1 TEL.391-6806

★婦人帽子

maxim
マキシム

神戸市中央区北長狭通2丁目6-13(ドアロード)
TEL.331-6711 全国有名百貨店婦人帽子売場

★伝わる真ごころ 最高の風格

手づくり
お話し紳士服



創業明治16年 金 株式会社 柴田音吉商店

本店 神戸 元町本通4丁目アーケード南 TEL. 341-1161
東京店 東京 帝国ホテル アーケード内 TEL. 3503-7973

KOBECCO

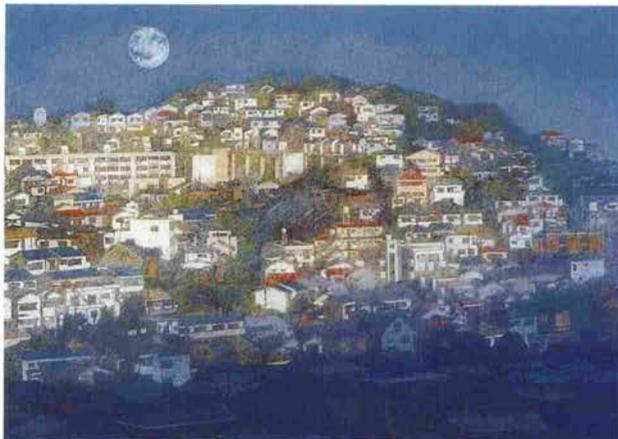
月刊神戸っ子9月号

No.460

SEPTEMBER '99

これは神戸を愛する人々の雑誌です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の心の手帖です

表紙/元永定正「だえんはきいろでしろぼかし」



西田真人「照」

51

結婚特集

KOBE流WEDDING

パールプリンセスが魅せる

Pearl Bridge Wedding

愛のデュエット

神戸っ子ウエディングアルバム

旧居留地から始まる新しい恋のかたち

ヨーロッパ流ブライダルメイク

talk

12

待望の神戸空港 着工へ

笹山幸俊 小室豊允

series

22

酔眼流旅日記「お返しのむずかしさ」

村松友視 絵=灘本唯人

70

神戸25時・彼と彼女のアストロジー

「ライオン・クィーン」

玉岡かおる 絵=高濱浩子

16 神戸のお嬢さん 松原尚美 井口彩子

19 私の意見「神戸商工会議所会頭就任にあたって」大庭浩

24 KOBECCO '99 うすいひろこ 吉村シュークリーム

26 コウベスナップ

28 ある集い 神戸「アスリートタウン」クラブ 神戸武夷登山会

30 竹久夢二 四つの恋のものがたり

「最初の恋・未亡人タマキとの出会い」中右瑛

32 亀井一成のズームインズー「ゾウ譚訪子(56才)最後の歯に生きる！」

34 はるにゃんのHYOGO WALK「介護保険制度について」

37 神戸を福祉の街に「胎児の生命をサポートする円プリオ神戸」橋本明

38 有馬歳時記「ボランティア活動を通して 兵衛向陽閣 風早笙子さん」

40 地域文化論「神戸と東山魁夷先生」佐野達箕

41 トアロードまちづくり「ガラスショップ「トアデコ」1周年」

42 アジア・レポート「光り輝く島スリランカ」近藤直子

44 タウン誌おすすめの旅「鎌倉・報國寺の日曜座禅会」

神奈川中央新聞社リベルタ

46 工房ルボ「次世代をになう菓子づくりの若い職人」福元早夫

48 インタビュー「華麗なバトンで世界の舞台に挑む」稲垣正司

49 神戸っ子倶楽部通信 ホテルオークラ神戸 神戸扇月堂

50 おなじみプロフェッサーPの研究室 岡田淳

67 啓介いろは歌「母さんいろは歌」今井啓介/ヤジマンガ9909

70 びっといん サンテ 元町ケーキ クラブ彩 オールウェイズ

71 ひとの味、料理の味「チャイナキッチン白鷹」王柏林

72 ポケットジャーナル

75 小関みか子のTASTYゴルフ「よみうりカントリークラブ」

愛読者プレゼント

76 イベント&チケットプレゼント「もだかる9909」

78 海岸線、西へ。「船渠」木村光理

80 海 船 港 「港島トンネルを歩く」

82 北野ホットニュース パールブランゾ 北野台所

84 神戸百店会 三宮写真室 インテリアアイリフネ

86 神戸うまいもん&ドリンクング サンマルク 百済

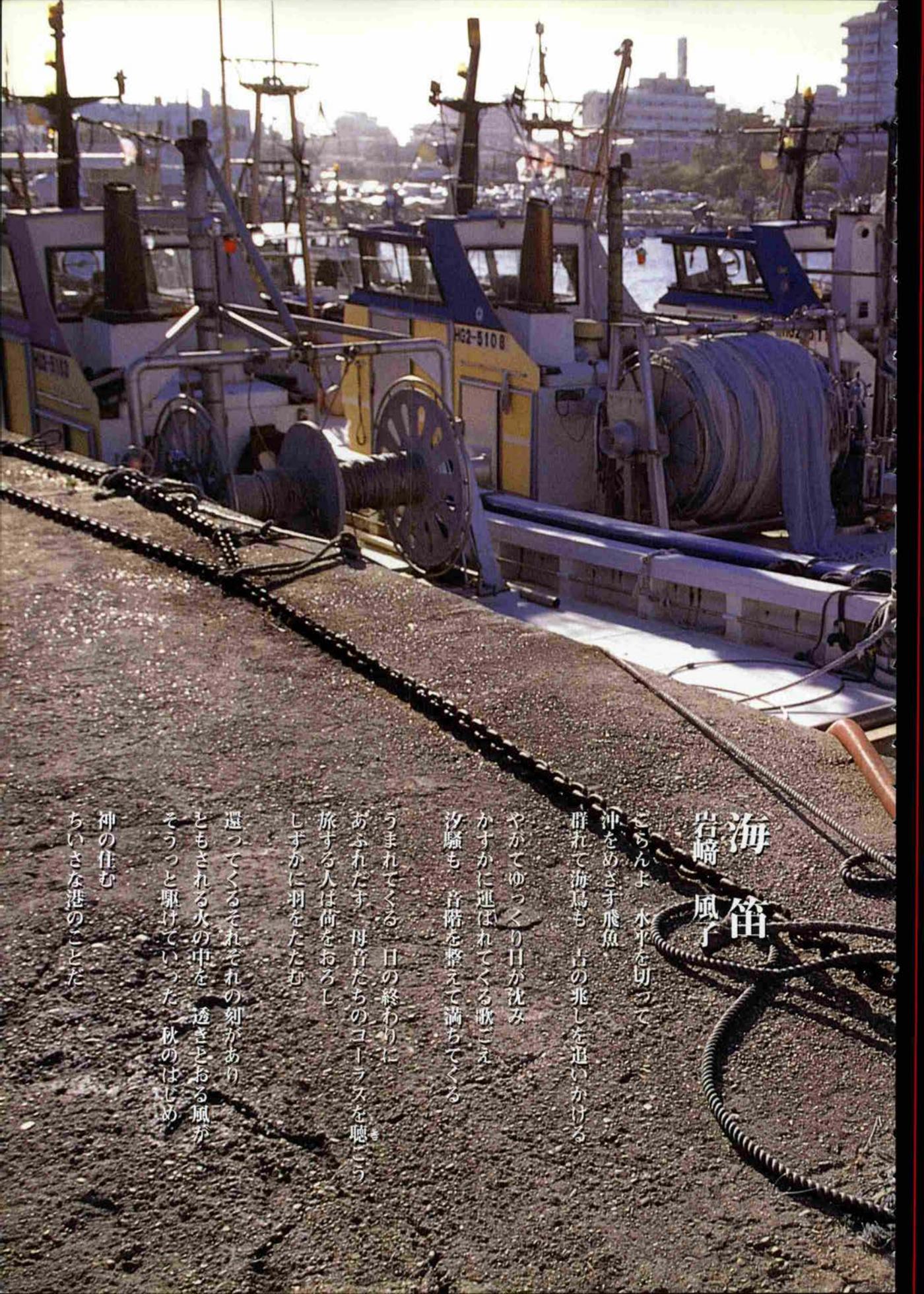
92 タカラヅカ対談「演劇の本質は不自然を自然に変えること」

剣幸vs笹部博司

カメラ/米田定蔵 池田年夫 松原卓也 米田英男 森田篤志 シンイチ



ポエムドコラブ(9月)
Photo by Tamotsu Koyama



海笛

岩崎 風子

ごらんよ 水平を切つて
沖をめさす飛魚

群れて海鳥も 古の兆しを追いかける

やかてゆつくり日が沈み

かすかに運はれてくる歌こえ

汐騒も 音階を整えて満ちてくる

うまれてくる 日の終わりに

あふれたす 母音たちのコーラスを聴きこう

旅する人は荷をおろし

しずかに羽をたたむ

還つてくる それぞれの刻があり

ともされる火の中を 透きとおる風が

そうつと駆けていった 秋のはじめ

神の住む

ちいさな港のことだ

神戸のお嬢さん

伝統と近代をミックスした魅力

松原尚美さん



旧居留地にて 撮影/米田定蔵



推薦者 住野和子
神戸YMCAクロスカルチュラル
センタープログラムディレクター

尚美さんは緑豊かな六甲山麓で、ご両親と共に明るい近代的なライフスタイルを満喫し、学び、仕事をされている生粋の神戸っ子。

神戸松蔭女子短期大学で服飾を専攻され、生来の手先の器用さで友人たちとウエディングドレスを合同制作し、ファッションショーを企画したり、ウエディングドレスの変遷やデザインを研究して英国を廻った凝り性の一面もあります。

四月の当センター主催の国際寺子屋展の民族衣装ファッションショーでは北欧、メキシコ、インドなどのモデルたちに交じって、江戸時代の桃割れ髪を再現した美しい振袖姿で満場の喝采を博されました。まさに神戸の伝統と近代性を融合した魅力的なお嬢さんです。

Mademoiselle de Kobe

神戸のお嬢さん

さわやかさを運ぶ笑顔

井口彩子さん (森真珠株式会社勤務)



ポートアイランドにて 撮影/米田英男

彩子さんは今年の三月に甲南女子大学をご卒業され、四月から森真珠株式会社にお勤めです。ご縁がありまして、お姉様と茶華道のお稽古においていただいております。ご姉妹は今日の時代を駆け離れた天性の温情とでも申しますか、誠におしとやかで近代性に富んだお嬢さんです。

彩子さんは社内でも、またお客さまに対しても、たいへん評判がよいとお聞きしております。「子を見て親を知れ」と言うことわざがございますが、ご両親様はさぞご立派なご家庭に大事にお育てになられたことと思います。

今は、社会生活にも慣れ、毎日が楽しいとおっしゃる素敵なお嬢さんです。



推薦者 山下宗栄
表千家

●小室豊允《夢対談》
“新世紀を語る”

笹山幸俊
小室豊允

《神戸市長》

《姫路獨協大学学長》

2005年完成に向けて
魅力あふれる空港のある街づくりを



待望の神戸空港着工へ！

6月22日、運輸大臣が神戸空港の埋め立てを認可。着工時期は、今年9月中旬の予定で、震災から10年目に当たる2005年の完成をめざす。今回、笹山幸俊神戸市長をゲストに迎え、神戸空港を核とした街づくりについてお話を伺いました。

神戸空港から始まる 新しい街、神戸

小室 震災から4年半。そしてもう間もなく21世紀ということで、これからの神戸をどうつくっていくのか、それをお聞きしたいのですが。いちばんの話題といえば神戸空港。運輸大臣の埋め立て認可が6月に下りたということですね。

笹山 そうですね。長い道のりでした。

小室 このあとどうなるのですか。

笹山 今年の秋には着工ということになりますから、ちょうど震災復興10年にあたる平成17年の開港をめざし、それに向かって進めていきます。

小室 私も講演で全国を回る関係で、各地の空港を利用するのですが、神戸空港は、ほかの空港と比べてどういう特色があるのでしょうか。

笹山 都心型だということです。三宮から空港まで約16分。そういった空港はほとんどない。神戸は港湾都市ですが、時代とともに物の流れが変わる。人の動きも変わる。街の構造もそれによって変わってしまう。ですから今までなかったものをつくって、こちらから変えていくべきだと思います。早く基盤をつくる必要がある。

小室 やっぱ都心型の空港でないといけませんね。

笹山 神戸空港を核にして「集客都市」「医療産業都市」「情報文化都市」としての神戸が、互いにリンクしあうような街づくりを考えています。

街の魅力をさらに高めて 都市間競争に勝つ

小室 とくに神戸は以前から「集客都市」というものを目指すべきだということをおっしゃっていました。いまは世界的な都市間競争の時代に入っていますね。私たちでも、夏のバカンスをどこで過ごすか、とか考える。やっぱ魅力のある都市に行きますね。

笹山 当然ですね。ですから街の魅力を高める仕事をやっていききたい。神戸は、海から見たロケーションではもう、世界有数ですね。



笹山幸俊神戸市長



小室豊允学長

小室 明石海峡大橋が開通して、観光客も戻ってきた。あのあたりの海辺もずいぶんきれいになってきました。

笹山 そうですね。垂水から舞子、それから明石。こういうところをずうっと連続したイメージで復元しようとい

うことで、事業をやらせていただいたいております。数年しますときっと一変しますよ。それぞれの街を拠点に、形を整えているところで。そこへ行けば何が得られるような。

小室 ただ拠点ということでは、

小室 情報通信というのが、これからのリーディングインダストリー、引張っていく産業であることは間違いないんですが、私が最近、関西復権で提案しているのはライフインダストリー、健康・医療・福祉。これが産業として非常に大きな比重を占めると言っているんです。市長も「情報文化都市」と

医療産業の拡大・充実で次代を拓く

小室 なんとか再建してほしいなあと思うのは、NHKの跡地と神戸新聞の跡地です。何か計画がありますか。

笹山 ええ。いまそれぞれで再建に向けていろいろ議論していただいているところなんです。三宮周辺については、新交通や地下鉄、バスが集まってきているので、駅前広場と一体となるようにできないかと思っています。

笹山 神戸国際会館が建ち上がって、地下鉄も入ってきますので、期待を込めて街をもう一回再生しようという努力をしている最中なんです。

小室 なんとか再建してほしいなあと思うのは、NHKの跡地と神戸新聞の跡地です。何か計画がありますか。

同時に「医療産業都市」というものを提案しておられますね。

笹山 もともと神戸は「スポーツ都市」ということを言っておるわけですね。子どもさんから高齢者、あるいは障害者の皆さんそれぞれが、体力と年齢にあったスポーツをして健康を保持するというのがいちばんよい形ではないかと。それとの連携の中で、いろいろつながりのある医療関係企業や機関を集積させて、都市として成り立たせよう。こういうことから構想を出して、具体化を進めているところなんです。

小室 医療産業ということでは、例えばアメリカなんかに行きますと痛なんかちつとも怖くない。医療ハイテク機器がものすごく進んでいるんですよ。それと、アメリカでは平均入院日数が4日から、いま3日になりつつある。なぜそんなに短いのかっていうと、実はホテルに住みましてね。検査の時期などはホテルで生活をして、どうしても集中的にお医者さんの管理がいるときだけ入院する。私はそういうシステムが神戸にできるとね、ホテル産業なんてのが、また活気づいてくるんじゃないかと思うんですよ。

笹山 ポートアイランドなんて、それに近い形もっていますね。中央市民病院がある、近くにホテルがある、会議



神戸空港を核にした街づくりについてお話しいただいた

場がある、という形になってますから。小室 それから神戸はポトアイルランドにも短期大学がありますし、学園都市にも大学があります。最近アメリカでは、大学の周辺に退職したお年寄りのリタイアメントコミュニティがたくさんできましてね。なるほど考えてみれば大学には、お年寄りにとっていち

ばん必要な若者が大勢いる、生涯学習の装置がある、スポーツをやるうと思えば施設がある。だから自然とお年寄りの街ができる。これも面白いと思うんです。

笹山 産業界と大学、医療と大学が、うまくつながっているんですね。

小室 神戸市というのは、そういう種、シーズがある街だと思えます。これが21世紀になって、どううまく結びついていくかというのが、ひとつの大きな課題なんじゃないですか。

笹山 私もそう思います。小室 テキサスのヒューストンに、メディカルセンターという5万人の医療関係者だけの街がありますね。病院と同数の一流ホテルがあって、先程お話ししたように、そこに泊まって治療を受けたりするわけですが、その病院そのものがね、1階に高級毛皮店があったりする。どうしてかというのと、例えば奥さんがこれから手術する。早く泊りなさい、治ったらミンク



7月23日、神戸空港着工決定報告会

の毛皮を買ってあげますよと(笑)。だから病院なんてのもね、これからどんどん変わっていくと思う。神戸は、それにふさわしい感性をもった街だと思いますね。そういう治療を受けるために、世界中から神戸空港に飛んでくるというようなことも考えられる。癒す・治す・安らぐ、というのは神戸の風土そのものですから。

震災を乗り越えて 21世紀に飛び立つ神戸

小室 あと半年で震災5年、ひとつの区切りですね。メモリアル関連では何か企画されていますか。

笹山 将来に向けてメモリアルセンターをと考えています。展示機能と研究機能をあわせもつ施設にしたい。いま国にもお願いしているところですが、これは成功させたいですね。

小室 震災という大変な不幸がありましたけれど、神戸が、空港を核にして21世紀に飛び立つということ。市長、ひとつがんばってください。今日ありがとうございます。

〈7月26日、神戸市役所で〉

●神戸空港についてもっと知りたいという方へ 神戸空港ハンドブック

未来をひらく神戸空港

編集 21世紀の新しい神戸を語るフォーラム

神戸空港のプロファイルをはじめ、神戸っ子100名より神戸空港への期待・夢を掲載。定価・600円(本体577円)

仕様・B6版164ページ
お申し込み・月刊神戸っ子

TEL.078・331・2246



神戸空港着工決定報告会より



21世紀型のモデル的な空港に

貝原俊民

〈神戸空港建設協議会代表会長
兵庫県知事〉



神戸空港の着工決定につきましては、誠に感慨深く、こんなに嬉しいことはありません。ちょうど今から30年程前に、大阪で開催されました万博のため

に、大阪国際空港の拡張計画が完成し、ジェット機が飛び出し、同時に、航空騒音が大変な問題になりました。その時から、新しい関西の空を考え始めましたが、紆余曲折を経ながら、やっと神戸空港の着工にこぎつけたわけです。

いよいよ神戸空港の着工となりますが、種々の課題が生じるのは当然のことです。これらを一つひとつ解決しながら、だれもが神戸空港をつくってよかったです。実感できるような努力をしていかなければなりませんし、これから、我々の正念場になります。一段と気を引き締めて行かなければなりません。

21世紀は「環境の世紀」と言われておりますが、21世紀の最初の空港となるであろうと思われる神戸空港が、環境に配慮した世界のモデルとなる空港になることを願っています。

例えば、空港島に漁礁をつくり、市民が魚釣りを楽しむことができるような空港にしてはどうかとか、色とりどりの花が咲き乱れるような空港にしてはどうかなど、色々な声が寄せられています。まさに、21世紀型の空港として、世界に冠たる神戸空港を建設するという夢を持ちたいと思います。そし

て、夢に向かって皆さんと心を一つにして努力していきたいと思えます。

空港が新しい仕事・人材を生む

笹山幸俊

〈神戸空港建設促進協議会会長
神戸市長〉



支援いただきましたことを感謝いたします。復興は、単に元の姿に戻すというわけではございません。神戸の個性を生かし、人、物、情報が活発に交流する魅力ある街づくりを進めていかなければなりません。従来から、時代の変化に柔軟に対応できるように、その都度、周辺施設、観光事業、ファッション都市、スポーツ都市など、バランスのとれた多機能型の都市づくりを進めてきました。

新しい時代に対応できなければ、街は衰退しますし、街の空洞化を阻止し、市民の皆さんに多彩な仕事を提供していくためには新しい産業の基盤づくりが必要で

す。アメリカに行きますと航空機や情報メディアを使い早く動いて、早く情報をつかんで、早く仕事ができる国や街でないとは寄り付かないというのが、一貫した意見です。

私たち神戸市民の生活も空港や情報通信基盤の整備を着実に、いかに早く情報をつかむかが大切になってまいります。このような条件整備のもとで、新しい仕事を作り、新しい人材を養成する街を神戸はめざさなければなりません。

〈7月23日、神戸ポートピアホテルで

神戸に空港を、という構想は、古くは戦災復興計画基本方針に遡ります。当時の関西におられました学識者の皆様方から、深江沖に空港を作りなさいという検討すべき事項をいただいております。あれから50年以上を経過しましたが、神戸空港計画は、昭和57年の基本構想の発表以来環境問題を含め諸問題の解決に向けて、真剣に議論がなされ、皆様方の温かいご支援のもとようやく今日、着工決定まで話が進みました。これは関係の行政機関の方々はもちろんですが、近隣の自治体、経済界、労働団体、それぞれの分野で

■空港のある街づくりへのメッセージ

神戸空港は神戸の玄関になる 神戸のまちの意識をはつきりと

稲原 作次郎

(神戸三宮センター街PR委員長)

近年、よく情報発信ということがいわれませんが、まちとして受信機能を備えていなければ、さまざまな思想や情報をとり入れることはできません。もと

と神戸の商業といわれる神戸ファッションは、エトランゼ(外国人)の方々によりつくられてきました。つまり大量生産ではなく、質にこだわった少量生産という神戸独特の商業です。このような過程の中で、神戸の方の鋭

い感性や神戸への思いが、培われてまいりました。この部分が絶れると、神戸の独自性を失い、神戸の使命は終わるといっても過言ではありません。

そのような意味でも、交流の窓口となる神戸空港の着工を喜ばしく受け止めております。また、国内空港にとどまらず国際線の機能をもった空港にしたいと、商店街としても期待を寄せております。

昨年、三宮センター街はニューヨークの5番街につづき、ニース市の商店街と姉妹提携を結びました。その時に、代表の方が、パリを経由してのトランジットでないと、ニースへ来られないとこぼされました。直接都市と都市を結ばなければ、意味がないと言っています。現在、ニース空港は直行便を増やそうと、拡張計画も進んでいると聞きます。震災でもつくづく思いましたが、容器があつてまちがあるわけではありません。人々の思いや情念がまちをつくるのです。山の中に人工的につくったまちであれば、簡単に壊滅するでしょうが、あの喫茶店で恋人とお茶を飲んでいたりとか、あのお店で洋服や靴を買ったとか、さまざまな思い出が積み重なって神戸のまちは成り立っています。"物語のあるまち"は、簡単に減りません。

三宮センター街は"神戸の顔"神戸の長男坊であるという責任があります。

お客さんへの商品の提供という意味でも、現在のように、ただ単に物が流れていくというのではなく、店頭でもまちの中でも人とのつながりが物流の中にも生きていることに留意しなければなりません。経済の復興は8割を終えたとか、ハード面の復興は終えたと言われておりますが、その中でも欠けているのは、右記のような心の中の復興やマナーではないでしょうか。三宮センター街の街づくりのキーワードになっているのは、"安心"と"清潔"です。派手なパフォーマンスも必要ですが、店頭を掃除するとか、彫刻を立てたり、花壇の植え込みを行うなど、ホスピタリティに気を配っております。

2005年、いよいよ神戸空港は開港しますが、神戸のまちの意識がはつきり出た空港であつてほしいと思います。今のままでは、他所の家の"玄関"を通して、神戸へ来ていただいているような気がしてなりません。我々の生活の中でも、玄関を見ればその家の気風や家風が分かるように、「神戸に足を一歩踏み込んだんだ」と、「これが神戸の玄関なんだ」と実感できる空港であつてほしいと思います。



「神戸の玄関なんだと実感できる空港を」と稲原PR委員長



「三宮～神戸空港はボートライナーで約16分で結ばれる」と東村副社長

■空港のある街づくりへのメッセージ

神戸空港は交流の窓口になる ホスピタリティあふれる街を

東村 衛

(株式会社神戸サンセンタープラザ代表取締役副社長)

震災と不況に見舞われたこの厳しい時代に、いよいよ神戸空港の埋め立てが決まり、先行きが明るくなったような気がします。9月中旬の着工により、徐々に、その実感が沸いてくるのではないのでしょうか。これまでの神戸の街づくりは100点満点とは言いません

が、神戸の歴史を踏まえ、神戸空港を核にプラス方向に伸ばしていく必要があるのではないのでしょうか。

神戸空港が完成すれば、街に活気が出るだけでなく、雇用をはじめ経済的な効果が出てくるのは確かです。現に、神戸に空港をつくるという話が出てこ

なければ、医療産業都市の構想は出てこなかったはずですし、他都市にできることになりました。空港をもとに、神戸がよくなっていくことのひとつの証と言えるでしょう。

また、これまでのように関西国際空港へ行くのでは、時間的にも経済的にも便利になります。もし新幹線「新神戸」駅がなかったら「新大阪」駅まで行かなければならないように、神戸空港は150万人が住むまちに不可欠です。港は海だけを指すのではありません。

神戸のまちは、国内外よりさまざまな人々の往来があり、発展してきた歴史があります。これは、神戸のまちに人々が「来やすい」「街づくりをめざしてきたからです。」「来やすい」ということは「出やすい」ということです。そこから、人と人との交流窓口となつて、神戸人の気質はつくり上げられてきました。そのような意味で、空の時代を迎えて、神戸空港の果たす役割は計り知れないと思います。

神戸空港から三宮はボートライナーで直結され、所要時間も約16分程度です。飛行機に乗って神戸へやって来る皆さんには、三宮でショッピングを楽しんで帰っていただきたいと思えます。そのためにも、神戸の中心である三宮センター街や三宮さんセンタープラザ



は、「ホスピタリティ」を存分に発揮しなければなりません。皆さんに道を案内してあげたり、ハンディキャップのある方が歩きやすいと感じ、「神戸の人は親切だから、また神戸に来たい」と思えるような街でなくてはなりません。我々にとつても神戸空港の着工は、嬉しいと同時に、気が引き締まる思いがいたします。

■空港のある街づくりへのメッセージ

神戸ブランドを世界中に発信

萬谷操

(神戸市商店街連合会専務理事)



この不況を克服するための起爆剤として、神戸空港へよせる期待は、並々ならぬものがあります。今回、「新しい神戸」を創造する第一歩として、神戸空港着工の決定を大変喜ばしく思っております。雇用の増大、地場産業の活性化、観光・集客など計り知

れない効果があると思われれます。

神戸市内には約3万数千人の外国人が住んでおられますが、海外との交流があり、洋菓子など神戸独自の産業が育ちました。神戸空港の開港とともに、多数の方がお越しになります。見る、買う、集う、の三つの要素を兼ねそろえた商店街を全市をあげてつくり、どのようにお客さんを迎えるかを提案していく必要があります。

返還100年を迎えた旧居留地、酒蔵のまち灘・東灘、華僑の方のパワーあふれる南京町など、神戸の歴史やまちをPRすると同時に、アパレル、ケミカル、洋菓子、酒などを購入できるショッピング施設を開設し、神戸ブランドを世界中に発信していただきたいと思えます。

神戸南京町のパワーを世界中に!

呉信就

(南京町商店街振興組組長理事)



外国人や異文化との交流を深めることで、世界に開かれたまち、神戸は発展してきました。現在でも、兵庫県内には約8万人、神戸市内だけでも4万人近くの在日外国人が暮らしているといわれております。今回、空港の埋め立て着工が決まり、神戸空港か

ら世界中へ飛び立つ日を迎えることが、いよいよ現実味を帯びてきました。

現在、世界各国で空港の建設ラッシュがおこっています。とくに、中国や韓国など成長の著しいアジア諸国では、増大する航空需要に対応すべく、大規模空港の新設や拡張計画が目白押しです。「21世紀は空の時代」というボーダレスの波が世界に押し寄せています。

神戸は81年以降、観光・コンベンション都市を全面的に打ち出してきましたが、これからの時代、空港は生命線といえるでしょう。南京町でも名物となった春節祭は、本場中国にも負けないパワーがあります。神戸空港の開港とともに、南京町のパワーをご覧いただきたいと思えます。

神戸空港が完全復興の担い手に

大河原徳三

(社団法人神戸国際観光コンベンション協会専務理事)



神戸の歴史は、神戸港をベースに培われた内外との交流にあります。このため、市内産業の中で約3割の事業所が観光関連というのが現状です。神戸は、NHKの「風見鶏」の放映や、'81年のポートピア博覧会以降、観光・コンベン

ションなどを中心に、全国からお越しいただける集都市づくりをめざしてきました。その意味で、神戸空港は都市の交流窓口として、欠かすことのできない都市装置といえます。

震災復興は、改めて観光・コンベンションを中心に都市づくりを考える必要があると思えます。神戸空港の完成により、陸・海・空の一体となった総合交通拠点が形成され、様々な人々が神戸に集い、賑わい、これまでの神戸の歴史が示すような新たな文化が生み出され、さらに洗練された、集客都市になるものと思われれます。

新世紀を創造する神戸空港が、神戸の完全復興を果たす担い手となることを期待しています。

ここから始まる 神戸ショッピングエントランスさんちか。

ショッピング、グルメ、そしてホットな暮らしの情報にあふれた街。毎日楽しく創造する街「さんちか」。135店の個性が、あなたの明日を新鮮にします。

SANLICA

santica
The New Heart of Kobe 神戸三宮さんちか

さんちか名店会/神戸市中央区三宮町1-10-1 ☎078(391)3965
●営業時間/AM10:00~PM8:00(飲食店はPM9:00オーダーストップ)
●定休日/毎月第3水曜日

神戸商工会議所 会頭就任にあたって

大庭 浩

〈神戸商工会議所会頭〉



今、神戸の街は震災直後からの混乱が収まり、交通、港湾、住宅等のインフラも復旧するなど、新生神戸の街づくりは着実に進んでおります。しかし、全国的な不況の中で、震災という重責を背負った神戸経済は、関西圏の中でも厳しい状況にあるのも事実であります。自助、自立の精神で、二十一世紀の神戸をどのような姿にしていくなか、シナリオをどう描いていくか、この神戸に新しい魅力付け加えるための知恵と工夫が今こそ求められています。

ついでには、新会頭としての所信の一端を申し述べさせていただきます。まず第一は、本来の神戸の姿を取り戻すため、地元産業・企業の活性化に注力することです。現下の経済環境は厳しいものがありますが、好・不況の波は十年サイクルで巡ってくると考えており、震災からの十年後を見据えて、被災地という暗いイメージを一新し、元の繁栄する、明るい神戸の街をつくっていくためには、まず地元の産業・企業が明るさを取り戻し、「自助・自立」で先行きに自信をもって事業に取り組むことができるような仕掛けづくりが重要であると考えています。

第二点は、本格復興を果たすためには、神戸の地でベンチャービジネスやニュー

ビジネスが生まれてくるような風土を創り、育てることです。今の日本の高コスト体質の下では、「既存産業・企業の建て直しだけでなく、「新産業創造」に取り組まなければ真の復興はおぼつかないと考えております。神戸は「ものづくり」に優れた街であります。私は企業経営の経験から「ものづくりこそ経済・社会発展の原動力である」との信念をもっており、神戸のこの特徴を生かすことで、経済の活性化を図っていききたいと考えております。

第三点は、関西、さらには広く「世界との共生・協働」、つまり連携を強化することです。今後とも世界との幅広い交流を果たし、世界中から多くの人々に神戸を訪れてもらうことは、地域経済の活性化に欠かせませんが、それには神戸だけでは限界があります。関西一円を視野に入れた「関西広域連携」の取り組みの中で、関西全体としての機能を有機的に結び付け、また世界と神戸、関西と神戸という視点で、陸・海・空のモノと人の交流の玄関口としての神戸という発想を、経済活性化のシナリオの中に積極的に取り入れることにより、その発展の可能性は大きく広がるものと考えております。

快適な靴で健康な暮らしを

アリス・クリスチャンス （株式会社アリス 代表取締役）

花隈公園の東向かいにある健康靴の専門店「アリス」が今年で創業15周年を迎えた。日本にはじめて健康靴を紹介し、多くの人の足の悩みを和らげてきた創業者のアリス・クリスチャンスさんはとても優しく温かな笑顔で迎えてくれた。

足の悩みに役立ちたい

私が初めて来日したのは日本にある外国企業に就職したためでしたが、その後は家庭の主婦として毎日過ごしをしていました。ある日、ドイツの靴の技術が進んでいるということから、知人



の神戸大学の整形外科医に足と靴、特に健康靴を選ぶことで相談を受けました。多くの人が足の悩みを抱えていることを知り、足に合っていない靴を履いていることが大きな原因の一つだとわかりました。そこで私が役に立つことはないかと考え、ドイツに行き健康靴についてデータを集め研究し勉強しました。そして日本に戻り、健康靴を扱うために「アリス」を開業しました。

前を向いて歩み続ける

当時、健康靴の輸入販売は私たちが初めて手がけ、業界で欧米人は私だけでした。だから苦労もありましたが、むしろ日本の友人たちからアドバイスやサポートを受けて助けていただきました。仕事を始めるまではいろいろと考えて悩んだりしましたが、一度決心したからにはやり通す覚悟で続けています。人生に困難はつきものです。

それでもこの十五年間仕事を続けることができたのは、なんといっても私どもを評価してくださったお客さまと、私を心から支えて下さった周囲の方々のお蔭です。また家族のサポートにも感謝しています。一九九五年の阪神・淡路大震災を契機に息子が入社し、卸業務の責任者として力を注いでくれています。

開業当初は健康靴のことはあまり知られていませんでしたが、雑誌やテレビなどいろいろなマスメディアで紹介していただいたので、今では多くの関心が寄せられ、理解をいただいています。

日本へ初めてドイツの整形外科靴マイスター（OSM）を招いたのも私たちですが、マイスターを数代引き継ぎながら日本の技術者のトレーニングにも役立つことができたと思います。今もマイスターの他、装具技術士、練習生が在職していますが、今秋ドイツでの技術修練を終えて、ゲゼレ（整形外科靴技能修得者）の資格を得た若い日本人が当店で就職します。日本人のマイスターが生まれるさきかげになつてもらいたいと大変期待もし、楽しみにしています。

快適な靴が健康への第一歩

靴の中には一つの氣候があるといわれます。靴の中で空気が循環し、湿度、

温度が良好な状態に保たれていれば快適な靴といえます。その鍵を握るのはまず素材です。アリスでは最高品質の天然の素材、天然の染料で作られた健康靴を取り揃えています。また、構造としては足底部には足の衝撃を和らげるクッションがあること、足にとつて十分な深さと幅があることが重要です。親指が地面をつかんで蹴る自然な動きができればゆび足の筋肉も十分に働き、血行もよくなりからだ全体の健康につながります。

アリスで扱っている健康靴は、整形外科学に基づいて製作されていますから、調整が可能です。足の大きさ、長さなどのそれぞれの特徴と変形に応じた調整を整形外科靴マイスターが行います。ぜひご来店いただき、本当にぴったり合う靴があること、そして、歩くことがこんなに快適だということを実感してください。また、月に一度クリニックの日を設けて、整形外科専門医、義肢装具士、マイスターたちが無料で皆さまの足の悩みをうかがっています。こちらにもお気軽にお越しください。

私たちのモットー「健康な足を健康な状態に保つこと」「傷んだ足をいたわること」を守りながら、これらも皆様に喜んでいただける健康靴を提供し続けていきたいと思っています。

Step Globally Step Naturally Step Comfortably

地球を歩く

自然に歩く

快適に歩く



西暦2000年を健康に、快適に



健康靴を専門に、15年目を迎えた株式会社アリスは、その経験と実績をベースに、お客さまの足の悩みに真剣に取り組んでいます。足の状態は、体全体の健康に大きな影響を与えます。新たな世紀を健康に、快適に過ごして頂くために、足に合った健康靴を是非お試しください。ご好評のブランドとデザインを豊富に取り揃えて、皆さまのご来店をお待ち致しております。

株式会社アリス 代表取締役社長 アリス・クリスチャンス

Japan's Premier Health-Shoe Specialist
高級健康靴と関連資材輸入・機材輸入

 **アリス**

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通り5-6-6
TEL:078-382-2101 FAX:078-382-2150
営業時間:10:30a.m.~6:30p.m.年中無休